

業種別下請関連企業の 現況と見通し



(対象期間 平成15年1月～3月)

業種加工内容	ポイント	現況	見通し
【繊維・繊維製品】 	<p>今期「売上が増加した」は19%から25%に微増となっているものの、「利益が増加した」は14%(前期は15%)と低い水準で推移している。「受注単価が値上りした」も6期連続で0となっており、海外製品との競合により利益の確保がますます難しくなっている。コンビニや一部の量販店向けの縫製品が好調である。</p>	 かなり悪い	 かなり悪い
【合成樹脂製品】 	<p>「操業度100%未満」が52%から65%に増加しており、生産余力を生じている企業が増えている。一方、「売上が増加した」の38%は3期連続で変わらず、好調・不調の企業がはっきりしてきた。自動車部品(特に特殊成形品)及び携帯電話部品が好調である。</p>	 普通	 普通
【鑄造】 	<p>「受注単価が値下がりした」が50%から69%に増加し、全業種中最多となった。さらに「売上が減少した」が36%から44%に、「利益が減少した」が31%から44%に増加しており、業況悪化が著しい。これに加えて原材料が値上がりしており、状況はいっそう厳しくなることが予想される。</p>	 悪い	 かなり悪い
【鉄骨・製缶】 	<p>「売上が減少した」が60%、「利益が減少した」が67%で全業種中最多である。「受注単価が値下がりした」も59%から67%と依然として増加傾向にあり、公共事業の縮小による需給バランスの崩壊という構造的要因が業界全体を覆っている。「業界全体が下向き」も74%で全業種中最多であり、将来についても悲観的な見方が多い。</p>	 かなり悪い	 かなり悪い
【機械加工】 	<p>「操業度100%超」が36%から57%に増加し、全業種中最多となった。「売上が増加した」が14% 29% 36%、「利益が増加した」が11% 24% 28%と、ともに2期連続で増加しており、業界全体としては上昇傾向にあると言える。業界別では自動車関連が相変わらず好調である一方、半導体関連は発注企業・加工品目等によってバラつきが見られる。</p>	 いい	 いい
【プレス・金型】 	<p>「売上が増加した」が36%で4期連続の増加、「利益が増加した」も32%で2期連続の増加となっている。しかし、「業界全体が上向き」が14%から0に減少する一方で「下向き」が36%から60%に増えており、今後については厳しい見方をしている企業が多い。前期同様、狭ピッチコネクタをはじめとする精密金型の企業が好調である。</p>	 いい	 普通
【金属製品】 	<p>「売上が増加した」が46%から41%に微減となったものの、依然として全業種中最多である。「利益が増加した」も29%から36%に増加しており、全体的に明るさが見られる。精密板金では新紙幣対応型のATMやミュージメント関連に動きが見られ、表面処理では一部の自動車関連が好調である。</p>	 いい	 いい
【組立】 	<p>「売上が減少した」「利益が減少した」がそれぞれ49%から57%、57%から66%に増加し、前期までの上昇傾向から一転して厳しい状況となっている。「操業度80%未満」の40%は全業種中最多であるが、その多くは発注企業の海外シフトの影響を受けた労働集約型の企業である。</p>	 かなり悪い	 かなり悪い

天気図は、「下請中小企業経営動向調査」結果並びに下請取引あっせん業務の窓口から見た生産状況、収益性を総合的にとらえたものです。
『精密板金』『表面処理』については『金属製品』に取りまとめています。

お問い合わせ先 取引支援課 TEL 019-621-5385 FAX 019-621-5480
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/> E-mail sitauke@johiwate.or.jp